みんなで話そう！
しまむにの未来

話した人



沖 良子さん
後蘭字出身、下平川字在住。
下平川小学校でしまむにを教えるなど、精力的に継承活動を行う。



田邊 ツル子さん
田皆字出身。
「たんにゃむにサークル」代表。
同字のしまむにや伝統芸能の保存継承に取り組む。



西田 真弓さん
沖永良部2世。
玉城字のしまむにの辞書『玉城字語辞典』編さん委員会の一人。



田中 美保子さん
国頭字出身。
「島ムニむんちゃの島ムニ保存会」代表として、しまむに継承に取り組む人たちをつなぐ。



西 啓亨さん
知名町の下平川小学校校長。
学校教育でしまむにを精力的に取り入れるほか、自身もしまむに学習中。



山田 真寛さん
国立国語研究所准教授。
沖永良部島でのしまむに継承活動を支援しつつ、研究している。



沖永良部島で昔から話され、大切に受け継がれてきた「しまむに」。近年、話者の減少で消滅危機言語として懸念される中、島内各地で継承と保存に向けた取り組みが広がっています。そこで、情熱を注ぐ6人のしまむにむんちゃ（しまむにの仲間たち）が集まり、お互いの活動や想いを共有しました。

※見出しのしまむには、仁志字の沖野マスノさんに教えてもらいました。

原動力は、頼られること。

――精力的に活動する方に集まってもらいましたが、まず聞きたいのは原動力です。とくに沖さん。小学校の講師や、声優までこなしますが、その源は何ですか？

沖さん» 私は、声が掛かると嬉しいんですよ。要するに人が好き。

――声を掛けられる、頼られるって嬉しいですよね。今日は、沖さんがしまむにを教えに行かれる下平川小学校の校長先生もいますが、声を掛ける立場としてどうですか？

西校長» とても心強いです。いつも二つ返事で対応してくださり、ありがたいですね。

西田さん» 私は、沖さんが声優をされた浦島太郎の動画（9ページ参照）を見て、やさしい語りで頭にすっと入り、感動しました。よく島外の人に「これがしまむにだよ」と紹介しています。弟の話では、しまむには父の怒ったときに話す印象があるそうです(笑)。

――確かに、話し手によって印象は変わりそうですよね(笑)。

関わった人に喜んでほしいから

――すでに色々とされている沖さんですが、新たに挑戦したいことはありますか？

沖さん» 辞書作りです。下平川小学校区にある8つの字で、すでに取り組まれている上平川と芦清良以外の字の高齢者の方に呼びかけて、進めたいと思います。田皆字で田邊さんが、玉城字で西田さんが頑張っている姿を見てすごいなと思い、刺激を受けました。

――田皆字は2025年8月に辞書が刊行されましたね。田邊さん、振り返っていかがですか？

田邊さん» 完成時に、編集委員（しまむにの例文づくりや収録に関わった高齢者）の皆さんが、自分が関わったものが形になりとても喜んでいらっしゃって。それが嬉しかったですね。

――玉城字で同じく辞書作りに取り組んでいる西田さんは、メンバーで最も若手ですね。そして、ルーツはあっても島出身じゃない。そこでの苦労はありましたか？

西田さん» 当初は「しまむにを話せない私に何ができるんだろう」と不安でした。でも、パソコンで例文を記録していくと、一年経つ頃には大体なんとなく分かってきて。それから、例文から広がり、皆さんが昔の思い出話をされるんですよ。これが楽しい。

――玉城の辞書は「土の匂いがする言葉」という考えを意識されていましたが、思い出話に花が咲くというのが、まさにそれを体現されている何よりもの証拠ですよね。



西田さん» 今後は、田皆字の「AIたんにゃん」（クイズなどが出せる対話型チャットAI）のようなものを玉城でも作って、編集委員の皆さんに、自分の声でしまむにを話しているのが聞けるという経験をしてほしいと思っています。それが今の私の目標です。

調整役と声掛けが、チーム力のカギ。

山田さん» AIはすぐにでも作れるけど、田皆ではデータベースを作ってくれたから実現できたんです。なので、玉城もすぐにできると思いますよ。

――沖さんがこれから辞書作りに挑戦されるという話がありましたが、先に辞書作りを始めた立場として、田邊さんからアドバイスはありますか？

田邊さん» 編集委員会では、例文が書かれた紙を見ながらチェックをした後で、修正作業を行いますが、これの準備と修正に時間を要します。玉城でいえば西田さんのような、事務局を担ってくれる存在が欠かせないと思います。

沖さん» はい、私もそこが心配です。パソコン操作に慣れている方の協力があれば有り難いです。

――それで言うと、田皆字の活動を見ていてすごいなぁと思うのがチーム力。活動を見に行くと、いつもお揃いの緑色のシャツを着た方々がキビキビと動いていますよね。田邊さんは、代表として心掛けていることはありますか？

田邊さん» いろんな方からの情報を基に声掛けを意識しています。最近も編集委員に、新たに6人加わってもらうことができました。

――なるほどなぁ。先ほどの沖さんの「声が掛かると嬉しい」につながりますね！

「できる人ができる時に」をみんなでやろう

――田中さんはここまでの皆さんの話を聞いて、思うところはありますか？

田中さん» 辞書作りが羨ましいです。私の出身は国頭字ですが、ベースとなる辞書がもうあるんですよ。また、私が（国頭の外に）住んでいることもあって今ではやりづらい。

――一方で、田中さんは島全域で活動していますね。「しまむに情報交換会」や知名町の公民館講座の「しまむにサロン」なども。情報交換会のきっかけは何でしたか？

田中さん» しまむにのことについて、下平川ではこんなことをしている、大城ではこんなことをしている、という情報が入ったので、共有しようというつもりで始めました。

西田さん» しまむにに興味を持って行った先々に美保子先生(田中さん)がいる。私はしまむにサロンで美保子先生から声をかけられたから、今日、ここにいると思います。

――今日の会の準備もそうですが、沖さんは田中さんとよく行動されていますね。

沖さん» 何も気を使わず、そばにいるだけで安心しますね。

田中さん» 嬉しいです。できる人が、できる時にすればいい。そう思いやっています。

――各字で取り組む人達がいて、そんな彼らをつなぐ人がいる。えらぶのしまむにの未来は、とても前向きだと感じました。決して時間がたっぷりとあるわけじゃないけど焦っても続かない。できる人ができる時にする、その輪が広がればいいと思います。

p.16「わかゆんかや？ しまむに とぅめらー」の答え

1 うだぬしゃーぶらー（よろしくおねがいします）／2 ちゅらさん（きれい、うつくしい　※知名町の字ではおもに「きゃらさん」）／3 はなしゃん（好き、かわいい、親しみがある）／4 ほーらしゃ（しあわせ）／5 がんがん（そうそう）／6 まさん（おいしい）／7 あべ（驚いたときの声）／8 わらんちゃ（こどもたち　※知名町の字ではおもに「わらんきゃ」）／9 あじ（おばあちゃん）／10 あやぶらんどー（どういたしまして）／11 はたくなさー（さびしい）／12 くるさ（黒色）／13 ぬーよー（なんですか？）／14 みへでぃろ（ありがとう）／15 みゆん（見る）

1う	2ち	ゆ	ら	さ	ん	な	ふ	15み	ん	ぼ
だ	や	お	き	の	や	み	え	へ	め	り	ん
ぬ	む	4ほ	ー	ら	し	や	ら	で	り	ゆ	う
し	ぐ	お	し	ゆ	な	ん	ぶ	い	ゆ	う	ど
や	く	5が	で	ず	3は	ー	ー	ろ	さ	ど	ー
ー	6ま	さ	ん	せ	ー	ど	よ	ど	や	ー	み
ぶ	て	り	ご	が	ん	さ	ー	ー	へ	み	に
ら	ぬ	る	ぐ	ら	ん	る	な	だ	13ぬ	に	さ
ー	べ	7あ	ぶ	ば	ち	15み	う	12く	る	さ	こ
そ	る	や	ち	ん	ら	8わ	ゆ	ぴ	た	こ	は
き	10あ	ざ	9あ	じ	ら	ん	ど	ん	せ	11は	